

STAGE+を楽しむ(217)(HP 収載)  
—バーゼル室内管弦楽団のクリスマス・オラトリオ—

1. 始めに

前報(216)に引き続き、STAGE+のバーゼル室内管弦楽団の《クリスマス・オラトリオ》の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のバーゼル室内管弦楽団の《クリスマス・オラトリオ》の演奏を選びました。

バーゼル室内管弦楽団が届ける《クリスマス・オラトリオ》

バーゼル・聖マルティン教会

収録日: 2014年12月16日

本映像では、名手バーゼル室内管弦楽団にドイツ室内合唱団とトップクラスのソリストが加わり、クリスマス・シーズンを祝う最高の作品の一つであるバッハのクリスマス・オラトリオを演奏しています。バーゼルの歴史的な聖マルティン教会で撮影されており、コンサートマスターを務めるユリア・シュレーダーが全体の指揮も執ります。6つのカンタータのうち4つにフォーカスし、喜びと思慮深さ双方の性格を呼び起こして、さまざまなパートの性格を見事に捉えた演奏がお楽しみいただけることでしょう。室内楽的なアプローチで、奏者が生き生きと演奏する姿からは、この時期ならではの至福に満ちた雰囲気味わえること、間違いありません。

ソリスト:

テリー・ウェイ (カウンターテノール)、ヴァレル・サバドゥス (カウンターテノール)、  
ヴェルナー・ギューラ (テノール)、クリスティアン・イムラー (バリトン)、ユリア・  
シュレーダー (コンサートマスター)

演奏:

バーゼル室内管弦楽団、ドイツ室内合唱団

曲目:

ヨハン・セバスティアン・バッハ クリスマス・オラトリオ BWV 248



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続しています。

パーゼル室内管弦楽団は、初めて聴くアンサンブルです。コンサートマスターが弾き振りのようなかたちでの指揮者なしの本格的なバロックアンサンブルであることが、種々の古楽器の映像からも確認できます。

演奏はオーソドックスなバロックスタイルで、個々の古楽器の質感が把握でき、通奏低音も明晰です。また、ソリストの歌唱や合唱が、残響豊かな教会内に響く様子もリアルです。女性歌手なしのカウンターテノールでの演奏は初めてです。





#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G も使用した結果、教会における本格的なバロックアンサンブルと合唱陣やソリストの演奏が聴けました。

以上